様式１６　情勢報告（各月の動き毎月２５日までに報告）

普及活動情勢報告（令和６年１月分）

高吾農業改良普及所

長果枝を利用しよう　～ナシのせん定講習会～

せん定の実演

12月20日、越知町ナシ生産組合がせん定講習会を開催し、生産者７名が参加しました。

普及所は、生産者の各ほ場で実際にせん定を行いながら、長果枝せん定の基本的な考え方や老木の枝の取り方などについて講習を行いました。

生産者からは、「今年は良い１年枝が出ていても、花芽が少ない枝が多い」といった声が聞かれました。

今年は夏場の高温や多雨による日照不足により、花芽がほとんど付いていない枝が多く見られました。

普及所は、今後も栽培技術指導などにより、ナシの生産安定に取り組んでいきます。

次年度のオクラ生産安定に向けて　～JA高知県日高オクラ生産部出荷反省会～

出荷反省会の様子

12月22日、JA高知県日高オクラ生産部が出荷反省会を開催し、生産者6名が参加しました。会の中では、今年の反省と次年度試験的に導入する新品種についての協議が行われました。

普及所からは、次年度の栽培に向けた発芽率の低下への対策および土作りのポイントについて情報提供しました。生産者からは、「地温を確保して、発芽率を上昇させたい」や「土壌分析結果を参考に、元肥を施用する」といった声が聞かれました。

普及所は、オクラの生産安定に向け、今後も巡回等による栽培支援を行っていきます。

ニラ農家の経営安定に向けて～ニラ月例会の開催～

月例会の様子

1月5日、ＪＡ高知県斗賀野支所でニラ月例会が開催され、10名の生産者が出席しました。

普及所からは、厳寒期の栽培指導として、管内のニラ農家のハウス内環境データを活用した温湿度管理の講習を行いました。また、新たに発生が確認されたフシダニ被害や作付体系事例について情報提供しました。生産者からは、フシダニに対する防除薬剤やニラ経営で有利な作型について質問が出されるなど高い関心を示しました。

普及所は、講習会や巡回での栽培指導を通じ、今後もＪＡと連携してニラ農家の経営安定を支援していきます。